

「私のまち」を「私たちのまち」に ~連携で広がる地域の可能性~

支えあう地域づくりに向けては、支援する担い手も様々な主体と つながっていくことが重要です。住民だけでなく、福祉施設や企業、 NPO など既存の枠組みだけでない新たなつながりによって、地域の 課題解決やまちづくりの新たな可能性が広がります。

この分科会では、新たなつながり先のヒントやそのプロセス、協働するにあたり配慮した点など、それぞれの強みを生かした連携を生み出すポイントについて共有します。





2

「私のまち」を「私たちのまち」に

∼連携で広がる地域の可能性~



13:15~16:00 定員 130名

住民、福祉施設、企業、NPOなど地域にある様々な主体がつながり、取組を進めていくことで、地域の課題解決やまちづくりの新たな可能性が広がります。それぞれの強みを生かした連携のポイントについて共有します。

コーディネーター: 武蔵野大学 人間科学部社会福祉学科 教授 渡辺 裕一 氏

実践報告

. ● 麦田町発展会・児童養護施設 聖母愛児園・麦田地域ケアプラザ

(中区)

● 特別養護老人ホーム 白寿荘・養護老人ホーム 白寿荘 いずみ野地域ケアプラザ・泉区社会福祉協議会

(泉区)

● 小菅ヶ谷地区社会福祉協議会・株式会社ケイサンタクシー 栄区社会福祉協議会

(栄区)

世界の幸せをカタチにする。



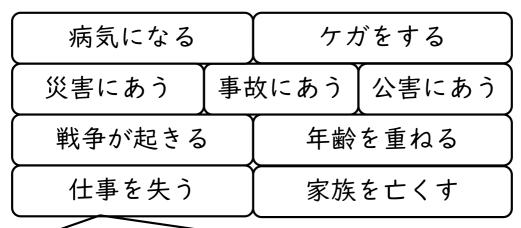
「私」と「私たち」

- 「私」がまちで「ひとりじゃない」と思えた時、 「私たちのまち」になる。
- まちの誰かに起きた出来事が「私」と「つながっている」と思えた時、「私たちのまち」の出来事になる。
- 困っている人の問題が「私」の問題でもあると 思えた時、「私たちのまち」の問題になる。



多様化・複雑化する人・人々の生きづらさ

人が自分らしく生きるのを妨げる人生のリスクは、たくさんある。例えば・・・



自分は関係ない、という方はいない



地域にある問題の複雑化・多様化

- 困っていることが、いくつもある。
- いくつもの困難が、複雑に絡み合っている。
- 要介護×低所得×孤独
- 病気×一人暮らし×多重債務
- 介護×子育て×失業×アルコール依存
- 子どもへの虐待×不安定就労×多子
- 言語×偏見・差別×病気

困難がかけ算 で発生する



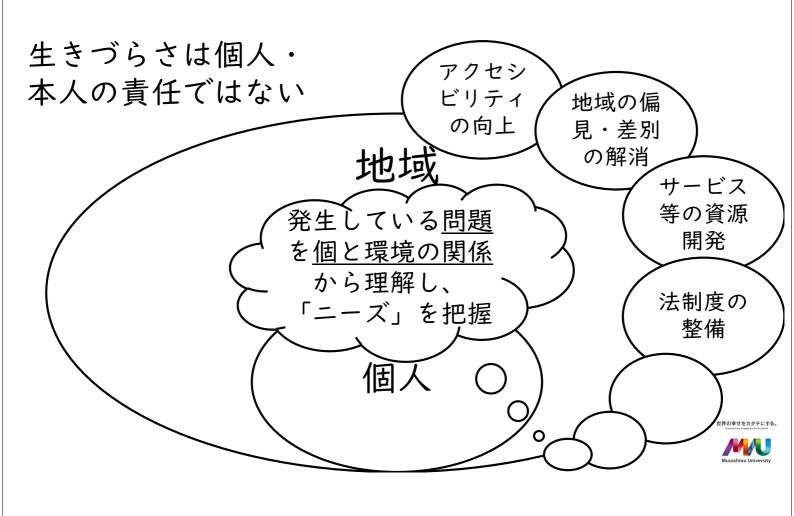


生きづらい



「私たちのまち」を 誰もがともに安心して暮らせるまちにするために





まちとつながっていない「私」たち

- 人・人々、組織・団体、機関、会社・・・・
- 持ちうる力を発揮することができない。
- 他者から存在を認められない。
- まちの中に自分の居場所が感じられない。

多様な人・人々、組織・団体、 機関、会社がつながり合う社会に向けて



誰もが「私のまち」と感じられる場所をつくる



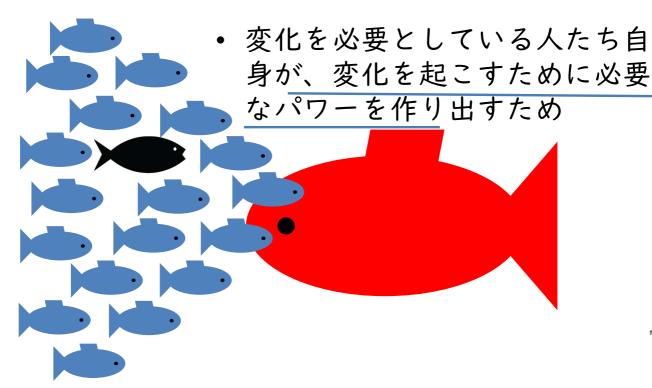
誰もが「私たちのまち」と言える つながりを感じられる地域社会をつくる



多様な人・人々、組織・団体、機関、会社がつながり、連携して、地域の可能性を広げる



人・人々、組織・団体、機関、会社等がつながる





かけ算でやってくる困難に、 「私たちのまち」はかけ算で立ち向かう



「私たちのまち」は、かけ算で、資源を生み出す。





事例発表 ○○×○○×○○



事例報告 ①ふらつと麦田

~ケアプラザの場を活かしたゆるやかなつながり~ 【中区】

ふらっと麦田

~ケアプラザの場を活かしたゆるやかなつながり~

~地域のプラットフォーム~ ふらっと麦田

麦田町発展会

会長:大谷 稔

担当:昌山 仁大(纏 店主) 中区麦田町を中心に地域で事業 を行っている人や地域貢献活動 などを行っている団体が集まっ ている。町内会や消防団に所属 する人も多く横の繋がりが強く、 地域住民の生活や地域への貢献 を考え日々色々な活動をしている。



本郷ホーム(聖母愛児園)

ホーム長:西野 勉 母体は、様々な理由で環境上、 養護を必要とする子どもたちが 暮らしている児童養護施設「聖 母愛児園」。

本郷町の住宅街の中にある一軒 家で地域に根差し、少人数で1 家族のように暮らしている場 所。

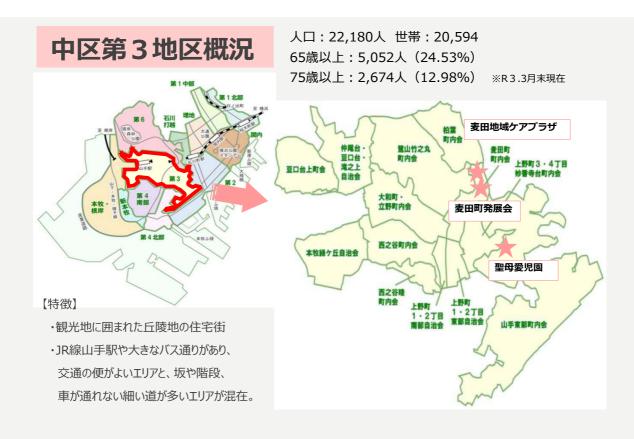


麦田地域ケアプラザ

生活支援コーディネーター :根本 洸介

地域ケアプラザは、高齢者、子 ども、障害のある人など誰もが 地域で安心して暮らせるよう、 身近な福祉・保健の拠点として さまざまな取組を行っている、 横浜市独自の施設。





ふらっと麦田について

月に2回、ケアプラザの多目的ホールを開放し、 地域の方が立寄って自由に過ごせる空間。 作業スペース、親子でおもちゃで遊べる親子向け スペースなど。

第2水曜 13時~18時 @多目的ホール 第4木曜 9時~12時 @多目的ホール

不定期にワークショップを開催



麦田町発展会の思い

地元に貢献していきたい・・



- 発展会の会員が納得するお金の 使い道は何か?トライ&エラー をしながら模索していた
- 子どもたちに愛着を持ってもら う地域にしていきたい

悩み・志

- 何かしたいけど人手がない
- 何を地域は望んでいるのか

CPと事業紹介→ハロウィン企画を一緒にやってみよう!

きっかけ

ケアプラザの課題感



麦田町発展会の課題感



放課後にケア プラザに立ち 寄る子どもた ちの存在

障がいのある方 が過ごせる場の 必要 商店街が昔に比 べて活発ではな くなってきてい る イベントを企画 しても外部から 参加の一過性で 留まる

コロナ禍、 家に居づらい親子

ふらつと麦田

地域の人たちの、 ためにできるこ とを考えたい。 ニーズを知りた い。

ふらっと麦田をやってみて(麦田町発展会)

新しいコミュニティが できてきた!



声が聞こえてきた!



地域の顔が見えてきた!

ふらつと麦田の様子







ワークショップ

5月6日ボードゲーム



発展会との繋がりのあるボードゲームショップさんを講師として開催。 20人参加。

8月6日おむつなし育児講座



ふらっと麦田の存在 を知った方が持ち込 み企画として開催。 12人参加。

6月11日水彩体験



NPO法人あっちこっちさんとの繋がりのある方を講師として開催。 6人参加

10月10日バルーンアート体験



発展会で活躍してい る方を講師として開 催。 18人参加

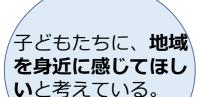


本郷ホームの思い



将棋の相手をしてくれる 地域の人はいない?

本郷ホーム 西野さん



児童養護施設の イメージ**「かわい そうな子」**となっ てしまう

子どもたちのこと を**もっとよく知っ てほしい**

ふらっと麦田に繋がったことで…(本郷ホーム)

地域を対り上げたい、

地域の中で繋がりたいと考えている人達が多いことに気付けた!



コロナ禍で自粛していた**太鼓や園芸**などの園内 のクラブ活動を徐々に再開し、ふらっと麦田の 場で展開し、地域活性につながることや、その 中で子ども達が成長できる事を望んでいます。

ふらっと麦田をやってみて

当初想定していた居場所 + 関わる人が思いを形にしていく! 認知症当事者の作品**×**ワークショップに参加した子ども 園芸活動のボランティア**×**認知症の方の参加

聖母愛児園の子ども**×**地域のボランティア

地区社協・民生委員・子どもの居場所の団体等のネットワークづくり会議

地域活動をしたい人がワークショップの講師で活躍 これまで来たことがないような人が訪れている

今後に向けて

ふらっと麦田 みんなが繋がり、みんなで地域を作る場

- ◎つながりがうまれる場になる
- ◎色んな背景のある1人1人の大切な居場所になる
- ◎ふらっと麦田を支える人がたくさんいる



事 例 報 告 ②多様な主体で暮らしを支える ~想いをつなぐ「泉サポートプロジェクト」~ 【泉区】

多様な主体で暮らしを支える

~想いをつなぐ「泉サポートプロジェクト」~

令和4年12月8日(木) 第7回よこはま地域福祉フォーラム

養護老人ホーム白寿荘

伊藤 祐樹

特別養護老人ホーム白寿荘

工藤 達也

横浜市いずみ野地域ケアプラザ

第2層生活支援コーディネーター 草島 佳子

横浜市泉区社会福祉協議会

第1層生活支援コーディネーター 中川 直樹

本日、お伝えしたいこと

- ◆地域ニーズに応える施設の想い
- ◆地域貢献は、施設や企業の実状に応じて 無理なく行えるということ
- ◆二一ズと多様な主体とをつなぐコーディネーター役(地域ケアプラザ〈以下、CP〉など)との連携の重要性



(生活支援コーディネーター応援サイト 第6回「SCカフェ」泉区役所高齢・障害支援課資料より引用)

泉サポートプロジェクト(以下、サポプロ)の目的

あらゆる機関が住民と共に地域貢献活動を 検討・実施していくことで、「誰もが安心して 暮らし、助け合えるまちづくり」を目指すもの とする。

サポプロ発足の経緯

平成28年社会福祉法の 改正に伴う社会福祉法人等 施設の公益的取組の推進



平成28年度生活支援体制 整備事業の取組開始

- ★サポプロは、福祉施設を中心に構成された泉区社会福祉協議会 (以下、区社協)専門機関部会が主体となり立ち上がる
- ★サポプロは、生活支援体制整備事業と並走して発展
- ★生活支援コーディネーターが地域と施設等をつなぐ

地域のニーズと施設とをつなげる ~サポプロの第一歩~

地域から聞こえる声

施設の想い

足腰が弱ってきてサロンや 敬老会に歩いていけなく なった...

仲間と会いたい...



地域の声に応えたい! 地域貢献活動を通じて まちづくりを進めたい!

施設の車両が活用できる!

地域と施設が連携した移動支援のはじまり

移動支援以外の地域ニーズを探ってみると

- →買い物に困っている・・・
- →自治会館以外に集まれる場所がない・・・ 等

暮らす環境によって異なるニーズ



CPエリア毎に地域に密着したニーズに応える!

明らかになる様々な地域の二一ズに応えたい・・・ 施設の力と共に企業だからできることがある



多様な主体の連携

多様な主体の連携による新たな取組 →移動販売、人材の派遣、敷地の開放・・・

CPエリアで展開される取組①

買い物支援・交流の場

◆施設が駐車場を開放し、入居者や地域住民に 向けた企業や施設による出張販売



CPエリアで展開される取組②

ちょこっとボランティア

◆移動販売で買い物した重い荷物を障がい者支援 事業所の通所者が自宅まで運ぶお手伝い



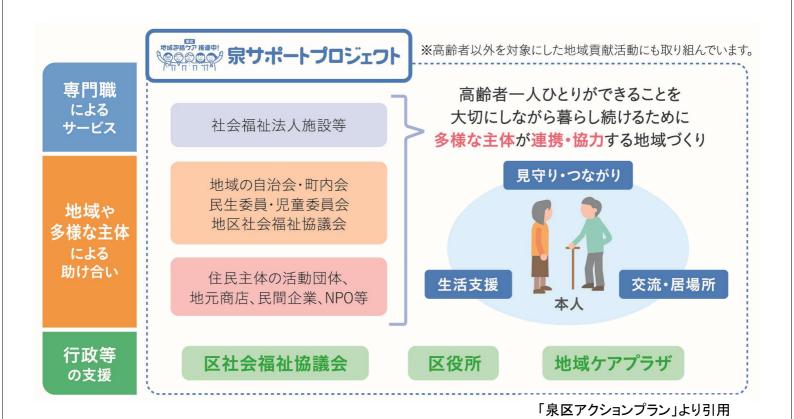
その他にも

「トイレやAEDの設備、飲料水の提供」なども立派な地域 貢献!

多様な主体の実状に応じて、無理なくできることをみんな でつなぎ合わせて地域ニーズに応える

それが、サポプロの目指す姿

コロナ禍でも工夫しながら広がるサポプロの取組



いずみ野地域ケアプラザエリア地区概況

- ◇瀬谷区が隣接した地域
 - 和泉北部地区<和泉中央地区(いずみ中央CP)
- 中川地区(岡津CP·新橋CP)
- ◆昭和51年、相鉄いずみ野線開通 駅前付近はマンション群と戸建の区画
- ◇農地が多い(泉区は横浜市で第1位) 地産地消取組:小学校(田んぼ・畑、給食)
- ◆交通機関:相鉄いずみ野線いずみ野駅・弥生台駅
- ◇人口13.279人(令和4年3月現在)
- ◆高齢化率36.06%(泉区第1位(横浜市平均28.70%)
- ◇課題:エレベーターの無いマンション住民の高齢化 公共交通機関利便性の悪い地域 移動支援・買物支援



白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組①

◆高齢者の外出支援



個別 相談



地域 ケア 会議



協 議 体



ボラン ティア 説明会



支援

開始

白寿荘ができる事



グラブイサービス車両



🙎 職員(運転手



ケアプラザ

生活支援Co

調整



ボランティア

添乗•付添

白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組②

◆講師派遣 お出かけサポーター研修会

※コロナ禍での展開 の送迎から車椅子での外出支援へ







白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組③

◆男飯(料理教室)

コロナ禍で東京ガス店の閉店

協力内容:栄養士さんの作るメニュー・講師当日のボランティア





白寿荘といずみ野地域ケアプラザの取組④



白寿荘の紹介

養護老人ホームと特別養護老人ホームとの複合施設

- ◆立地条件 相鉄線いずみ野駅より徒歩8分 隣接する公園は緑に溢れ地域の方の憩いの場 屋上からは富士山が一望出来る恵まれた環境
- ◆設立
 - ・養護老人ホーム:昭和38年7月 (平成5年12月にいずみ野に移転)
 - •特別養護老人ホーム: 平成5年12月
- ◆入所人数
 - ・養護老人ホーム70名 ・特別養護老人ホーム:72名

白寿荘が地域貢献を大切にする想い

- ◆地域の一員として共に日々を過ごし、困ったとき は助け合う
- ◆同じ目線に立ち「共に」を大切にする
- ◆地域に根差した福祉施設としてできることがある
- ◆地域に頼られる存在でありたい
- ◆地域からの声を大切にする

介護保険制度がスタートした頃の白寿荘

- ◆福祉施設としての白寿荘は・・・ 施設の負担感が優先し、利用者へ断る理由を探す 場面も。
- ◆このような状況下、地域貢献したいと意識しつつも 白寿荘という組織で一致団結した取組に至ってい たか・・・

このままではいかん!

白寿荘は地域に知ってもらえているのか? ある地域の食事会に参加した時の会話 →「白寿荘って何をしているのかわからないね」 このままではいかん!



どうやって白寿荘を知ってもらえるのか?どうすればいいのか?

- ◆まずは地域の人と触れ合える機会はどこにあるのか
- ◆少しでも地域の人と声を交わすことから始めよう!
- ◆「コーヒーを楽しむ会」開催



「白寿荘」という名前を地域に知ってもらう

地域貢献活動のスタート

変わる!

地域貢献の取組を行う担当職員を2名配置 →相互補完的に回り続けることにより、地域と施設を 繋げる顔となる

断らない!「出来ない」のではなく、どうやったら出来るのか?を考える

- →「なぜ、今、こういうことをやろうとしているのか?」

白寿荘の地域貢献のいろいろ

















白寿荘からのメッセージ

- •地域貢献活動の文化の醸成に積極的に取組む!
- ・地域に出て行くと色々な二一ズを発見できる!
- 自らが動きたいと思うことをみんなで考えながら 地域貢献につなげていきたい!

「出来ない理由」を考えるのではなくて ほんの小さなことで良い! 出来ることから挑戦する!



外出を支える暮らしを見守る タクシー会社との連携

小菅ケ谷地区社会福祉協議会 会長 田中 伸一 株式会社 ケイサンタクシー 所長 岸 信人 栄区社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 若尾ちづる



栄区の概況

横浜市の南部に位置し、東に金沢区、磯子区、 北に港南区、西に戸塚、南に鎌倉市に接してい ます。

◆高齢化率31.0%市内NO.1

(横浜市高齢化率24.8%)

- ◆要介護認定率低い(16.85%) 市内NO.1
- ◆一戸建ての割合が高い
- ◆S40年代に開発されて宅地が多い



資料: SAKAE早わかりノート2022



きっかけは・・・

バス停まで歩く自信がなくなってきた

外出したいけど歩いていく ことに不安がある

バスの乗り降りに時間がかか ると周りの方に迷惑になる



【民生委員・児童委員の声】

このままでは外出できなくなるのでは・・・?!



きっかけは・・・

歩くことが不安でサロンへ 来られなくなった方がいる

サロンがあっても、来られな いのは意味がない!

【サロン活動者の声】

迎えに行ってあげたいけど 車の運転が心配

このままでいいの?



なんとかしなくちゃ!



そこで外出手段について検討

根岸線沿線3区(中区 磯子区 栄区)で取り組み

取組みの1つ: 高齢者の外出手段・機会の確保をする

生活の質を高めるだけではなく交流の機会(孤立予防)を絶やさないようにすることにも繋がる。企業等と連携することで重層的に移動手段の選択肢を増やしたい。



- ●バス便を変更、増便 ●地域交通サポート事業
- ●福祉法人施設、病院などの送迎車の活用

など検討したが・・・



個別の対応ができるタクシー

神奈川県タクシー協会との意見交換会 (令和元年12月4日)

タクシー会社の状況





知らなかったタクシー会社の状況

決められたルール

- ◆運賃が決まっている
- ◆乗降時、体に触れることはできない
- ◆営業エリアが決まっている
- ◆ 2 4 時間 3 6 5 日営業
- ◆食品、物などは運べない
- ◆乗車拒否はできない

等々

状況

- ●朝・夕の時間帯は忙しい
- ●運転手が減っている
- ●予約は好まない
- ●景気に影響されやすい

3区の違い





3区の状況と取組み

【中区・磯子区】

- ●観光客、サラリーマンなど利用者が多い
- ●タクシーはすぐ見つかる
- ●タクシー会社が多くある

【取り組み】

イベント時にタクシーを活用 (お花見やイルミネーションなど)

配車アプリ「GO!」の周知

【栄 区】

- ●常連の方が多い
- ●迎車が多い
- ●病院への送迎が多い
- ●運転手のほとんどが区民



【取り組み】

相乗りタクシー (サロンや病院など)

見守りタクシー

相乗りタクシー





相乗りタクシー 【取組み1】

サロンや買い物など同じ目的地へ行くために、ご近所や仲間同士で タクシーに**乗り合う**仕組み

【車両の流れ】



【利用の手順】

- ①団体で、送迎パターンや人数、運賃負担について決める
- ②参加者、利用者に向けて利用案内をする
- ③タクシー利用者の情報を確認し、必要な情報をタクシー 会社と共有する
- ④団体からタクシー会社への運賃の支払い方法、運行ルートについて確認する

【料金支払いの流れ】



【運賃負担の例】

- ●参加者全員で一律負担、参加費に上乗せ
- 2乗車した人のみ、実費負担
- 動助成金を使って運賃を補助



見守りタクシー【取組み2】~途切れることのない見守りのために~

タクシー会社が日頃の業務の中で、タクシーを利用している**地域の高齢者を見守り** 異変に気づいた際に**専門機関へ連絡する**仕組み

その1【気づきポイント作成】

「見守り気づきポイント」を運転手の意見を基に作成 車に常備





【オペレーター用】





【ドライバー用】



見守りタクシー【取組み2】~途切れることのない見守りのために~

その2【見守り協定】

- ●イースタンタクシー
- ●ケイサンタクシー
- ●栄区役所
- ●栄区社会福祉協議会
- ●7地域ケアプラザ

見守り協定締結 令和3年12月

タクシー2社、区、区社協、地域ケアプラザ

その3【研修・情報交換】① 生活支援CO7名、区社協、区

タクシー会社名	日時	内 容	対象
イースタンタクシー	9月4・5日	認知症の方の対応、接し方 情報共有	ドライバー80名 オペレーター3名
ケイサンタクシー	2ヵ月1回	情報共有	所長

その3【研修・情報交換】②

相談できる場所 が増えること は心強い

通院へ利用する常連の方が多いため、 連絡がないと気になる方はいる 歩行が不安定でタクシーに 乗るのが大変な方



オペレーターさんとの情報交換

買い物や食事の外出に頻繁に利用 する常連の方は気になる方はいる ごみ出しにタクシー を利用する方

近くのコンビニに頻繁 に行く方



ドライバーさんとの情報交換

福祉の専門の方とつながれると 安心できる



相乗りタクシーと見守りタクシー

相乗りタクシー

サロンや買い物など同じ目的地へ行くために、ご近所や仲間同十でタクシーに乗り合う什組

見守りタクシー

タクシー会社が日頃の業務の中で、タクシーを利用している**地域の高齢者を見守り**、異変に気づいた際に**専門機関へ連絡する**仕組み

2つを合わせて



「**あいタク**」を活用することで、顔の見える関係ができ見守り体制が 充実し、持続可能な仕組みになります。



「あいタク」目的

- (1) 移動の困難を抱える方が、家に閉じこもることなく外出できるよう、身近 な支援者の助力で気軽に**移動手段を確保**します。
- (2) 家に閉じこもりがちな高齢者が安全に安心して外出できるよう、移動手段 を活用し社会参加の機会を増やします。
- (3) 認知症等の早期発見、見守り体制の充実のため住民、企業、行政が協働することにより、**24時間365日、途切れることのない緩やかな見守り**が可能となり、**福祉専門職などと連携**することで見守り体制を強化します。

活用状況

◆サロンや敬老会への送迎へ活用

	活動名	活動日	人数	車台数
1	中途障がい者サロン	毎月第3金曜	6名	2台
	(小菅ケ谷地区)	(7/21,9/16,10/21,11/18)		
2	地区別計画研修会 (本郷第三地区)	6月22日(水)	12名	3台
3	敬老の集い (笠間地区)	10月 2日(日)	2名	1台
4	ふくしほけんまつり (上郷東地区)	10月23日(日)	5名	2台
5	敬老の集い (本郷第三地区)	11月 9日(水)	13名	3台

58名 外出できた♪





利用した方の声

雨の日、暑い日は外出はあき らめていたが、タクシーが迎 えに来てくれるからサロンへ 行けた♪

タクシーが身近に感じた。買い物 などの外出に利用したい。 家の前まできてくれるから安心

お友達と一緒に行かれるので嬉し い





活用した団体の声

来られなくなっていた方が参加 できるようになった。 送迎があるとサロンに誘いやすくなった。

支払いもまとめてだから安心

プロだから安心してお願いできる





「あいタク」を活用して



タクシー会社として

相乗りやってみようと思った理由

実施してみての感想

苦労したことは





実菅会の紹介

●主 催:小菅ヶ谷地区社会福祉協議会が主催、運営:実行委員10名

●目 的:障害のある方やお一人暮らしの高齢の方などが、地域で楽しい日常生活を心豊かに暮らせるようになること

●対象者:障害のある方 加齢にともないお体がご不自由になってきた方

お一人暮らしで75歳以上の方などで、ご自分(家族やボランティアの介助も含む)で参加

できる方(連合町内会自治会の地域内に居住している)

●会 費:100円(毎月のお茶菓子代)バスハイクの昼食代、クリスマス会の昼食代など、別途実費

●日 時:月1回 第3金曜日 13時30分~15時 会場:本郷台駅前地域ケアプラザ

●内容:参加者の交流、実行委員との懇談、バスハイク、手工芸、体操、ゲーム など

●運営ボランティア

小菅ヶ谷地区社会福祉協議会役員、実行委員(ボランティア)、民生委員・児童委員など 10名





実菅会として

【参加者の声】

- ●バス停まで歩く自信がなくなってきた方
- ●雨の日は参加できない方

まずは参加の皆さんに聞いてみよう アンケートを実施



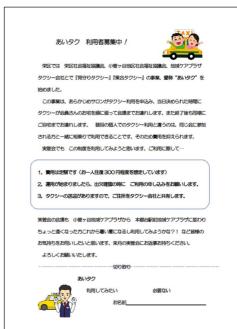
「あいタク」利用したい方6名

無料?

やってみよう!見切り発車?

お金足 りる?

【アンケート用紙】





気になるお財布事情・・

【支出の部】 年10回開催の場合

タクシー代金

年間65,000円 (平均6,500円/2台往復)

【収入の部】

あいタク乗車料金

15,000円(往復300円×5名×10回)

区社協助成金 (新規創設付加助成金) 20,000円

実菅会の負担

年間65,000円-35,000円=30,000円



タクシー到着】



【2 お出迎え】



【3お迎え待ち】





【6 自宅へ】





【4タクシー到着】





今後について

外出しにくさを感じている方への**外出の機会を増やすことが可能**に



タクシーの日常的な利用により

地域の方の顔を覚え変化に気づく「地域タクシー」として

タクシードライバーによる24時間365日、途切れることのない緩やかな見守りが可能



専門職等と連携することにより強固な見守り体制作りの実現が期待



取組みを重ねていくことで、区域を超えた、多様な効果をもたらす事業展開

- ●サービスB (横浜市介護予防・生活支援サービス補助事業)
- ●ちょこっとボランティア ●子育て関係(放課後等児童デイサービス、学童)など